

臨床心理学特論Ⅱ

必修 2単位

笠井 さつき

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、臨床心理学特論Ⅰに引き続くものである。本講義では、Ⅰでは扱わなかった問題を論じる。まず、ライフサイクルに即した心理的問題とその支援について扱う。次に、心理職の専門性について論じ、専門職としての基本的態度や成長、スーパービジョンについて取り上げ、心理職として獲得すべき専門性とその道筋について展望を持てるようにする。さらには、他職種との連携やチームアプローチについて論じ、心理職として必要な知識の獲得を目指す。

2. 授業の到達目標

心理臨床家として必要な社会性や倫理観を身につけ、医療・保健、教育、福祉、大学・研究所、司法・法務・警察、産業・労働、私設心理相談などのさまざまな心理臨床の現場で、専門職業人として働くことを目指す。そのため、①ライフサイクルの中での心理的問題について発達の観点を説明することができる。②心理専門職としての成長過程に自らを位置付けながら現在の課題を整理し、将来の展望につなげることができる。③心理職の専門性や臨床心理士・公認心理師の役割をを社会的状況や他職種との連携の視点で説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

レポート提出(60%)、講義中における発表と討議への参加(40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

コーリイ&コーリイ 心理援助の専門職になるために 金剛出版

5. 準備学習の内容

事前学習として、①発表に際し、複数の文献に当たり、資料を作成し、のぞむことが求められる。②指定された教科書の該当箇所、論文、資料を読み、授業当日のディスカッションの中で検討する。
「心理支援に関わる法律・法令・制度」についてレポートにまとめること。

6. その他履修上の注意事項

発表担当者はもちろんのこと、履修者全員が教員の提示した文献・資料を事前に精読し、討論に向けて十分に準備しておくことが強く望まれる。

この科目は臨床心理学専攻に特化した科目である。

この科目は、臨床発達心理士試験受験資格を得るために必要な科目である。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 心理支援に関わる法律・法令・制度(オンライン形式)
- 【第3回】 ライフサイクルと心理支援
- 【第4回】 心理職の高度専門性と資格問題
- 【第5回】 心理職としての倫理的配慮(1):守秘の問題
- 【第6回】 心理職としての倫理的配慮(2):多重役割の問題
- 【第7回】 心理職としての成長モデル
- 【第8回】 スーパービジョンを通じての学び
- 【第9回】 心理支援とチームアプローチ
- 【第10回】 他職種連携:医療・保健領域
- 【第11回】 他職種連携:福祉領域
- 【第12回】 他職種連携:教育領域
- 【第13回】 トラウマと心理支援
- 【第14回】 心理支援における視点
- 【第15回】 まとめ